

学会からのお知らせ



学会表彰の報告
(1) 各学会表彰について
去る7月3日(火)、タワーホール船堀(東京都江戸川区)において、第7回研究発表会(詳細は巻頭特集を参照)の日程に合わ

せ、初めての学会表彰授賞式が行われました。
以下に今回の表彰該当者と受賞理由を紹介いたします。



一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会 第1回表彰式

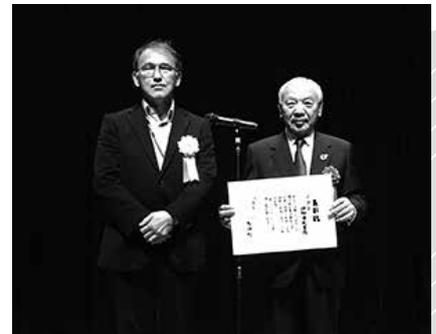
2018年7月3日(火) 17:10より 於:タワーホール船堀 大ホール(東京都江戸川区船堀4-1-1)

学会賞

田畑 日出男 氏 ■ いであ株式会社 代表取締役会長

受賞理由

田畑氏は、学会発足の発起人として準備活動に奔走され、学会発足後は副理事長として6年にわたり学会運営を指導・支援された。特に、研究発表会では実行幹事に就任されるとともに、いであ株式会社から多数の運営支援者の協力をいただいた。田畑氏のおかげをもって本学会の運営が成り立っていたといっても過言ではなく、本学会の発展に著しい貢献があったと認められる。



田畑日出夫氏(右)



西嶋茂宏氏(右)・秋山庸子氏(中央)

学術賞

西嶋 茂宏 氏 ■ 福井工業大学 教授
秋山 庸子 氏 ■ 大阪大学大学院 准教授

受賞理由

西嶋、秋山両氏は、汚染土壌などの減容化におけるセシウムの挙動に関する多くの論文を学会誌に発表するなど、環境放射能除染に関する学術研究の進展に顕著な貢献があったと認められる。

技術賞

■ 株式会社日立製作所およびグループ各社（ガンマカメラ開発チーム）

受賞理由

見えない放射線を可視化するガンマカメラの開発を行い、その応用として除染現場で使用されるなど、除染技術の進展とリスクコミュニケーションに顕著な貢献が認められる。
受賞者：高橋 勲、上野雄一郎、田所孝広、岡田耕一、名雲 靖、額賀 淳（以上株式会社日立製作所研究開発グループ）、石津崇章（株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニット）、長島賢一（元日立コンシューマエレクトロニクス株式会社（論文発表当時））、藤島康剛（日立GE ニュークリア・エナジー株式会社）/ 敬称略



ガンマカメラ開発チームより高橋勲氏（右）

奨励賞

川崎 興太 氏 ■ 福島大学共生システム理工学類 准教授

受賞理由

川崎氏は、毎年、継続的に、福島県内の全 59 市町村に対するアンケート調査等に基づき、除染に関する実態の分析や課題の抽出を行い、成果を学会誌で報告している。復興の行政主体である市町村の意見・認識を詳細かつ体系的に整理した一連の研究であり、学術的な記録として重要な意義を有している。



川崎興太氏（右）

奨励賞

倉持 秀敏 氏 ■ 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 室長

受賞理由

倉持氏は、既存研究に関する詳細な文献調査に基づき、課題、問題点を取りまとめ、事故由来の放射性廃棄物の熱処理に関する総説として学会誌に発表している。また、的確な実験計画によりセシウムの揮発除去のメカニズム等の研究で成果を上げ、報文として学会誌に発表している。



倉持秀敏氏（右）

奨励賞

市川 有二郎 氏 ■ 千葉県環境生活部 大気保全課
元千葉県環境研究センター

受賞理由

市川氏は、除染作業とその効果について一連の論文を学会誌に発表している。千葉県内の公共施設などで観測された放射能汚染をどのようにして除染していったかが、作業に従事した科学者の目を通して報告されており、客観性のある報告になっており、また、記録としても意味のあるものである。



市川有二郎氏（右）

功労賞

河津 賢澄 氏 ■ 福島大学共生システム理工学類 特任教授

受賞理由

事故時の対応から始まり、除染のための幅広い活動をされるとともに、本学会の立ち上げ当初から6年間理事を勤め、研究発表会の実行委員長としても活躍された。また、多くの除染活動でアドバイスも行っている。これらの活動により、福島環境改善および本学会の発展に著しい貢献があったと認められる。



河津賢澄氏(右)

功労賞

■ 三友プラントサービス株式会社



三友プラントサービス株式会社より
山本氏(中央)・金原氏(右)

受賞理由

本学会発足時より、学会運営、研究発表会の実行委員会等で多大の支援を行ってきており、本学会の発展に著しい貢献があったと認められる。

受賞者: 小松和史、山本収三、山口耕二(以上三友プラントサービス株式会社)、金原暁治(元三友プラント株式会社(現日本メディカル・ウェイト・マネジメント株式会社)) / 敬称略

功労賞

■ 福島大学放射線計測チーム

受賞理由

原発事故直後の2011年3月19日に、福島大学の多数の教員が参加しスタートしたチームで、福島県内各地の放射線量をいち早く実測し、マップ化するなどしてわかりやすく情報提供した。そのデータは計画的避難区域の設定をはじめ、多くの施策に活用された。また、原子力災害について、データに基づく解析と対策の基礎を築いた。これらの活動により、科学・技術の進歩発展および福島環境改善に著しい貢献があったと認められる。

受賞者: 山口克彦、浅田隆志、生田博将、大山 大、金澤 等、川越清樹、川崎興太、河津賢澄、木村勝彦、黒沢高秀、小山純正、酒井元気、佐藤一男、佐藤理夫、柴崎直明、篠田伸夫、高貝慶隆、高瀬つぎ子、高橋隆行、田中 明、中馬教允、塘 忠顕、長橋良隆、難波謙二、廣瀬孝太郎、横尾善之 / 敬称略



福島大学チームより右から順に
川崎氏・河津氏・佐藤氏



(2) 優秀口頭発表賞および優秀ポスター発表賞について

今回から調査研究の発表案件のなかから優秀口頭発表賞、優秀ポスター発表賞を数件選考することになりました。また、各優秀賞のうちから1件を最優秀発表賞とすることとしました。各々の表彰候補者間には大きな差はないと思われませんが、規定により評価点や投票数等により選考させていただきました。発表者のモチベーション高揚に少しでも貢献できればと考えております。

表彰対象者各位への通知等はまだまだですが、規定に従い

以下に各表彰者を公表させていただきます。

a) 優秀口頭発表賞の審査結果

優秀口頭発表賞は、研究発表会各発表セッションの座長の皆様から表彰候補の推薦をいただき、そのなかから学会会長、理事長、副理事長および実行委員長との協議により審査しました。その結果、下表に示す最優秀賞1件、優秀賞3件が選考されました。4件の発表者の方には学会から賞状と副賞を贈呈させていただきます。

優秀口頭発表賞授与一覧

表彰名	発表 No	発表題目	発表者名
最優秀口頭発表賞	S2-5	セシウムフリー-錫化法を用いた土壤汚染における塩化物反応剤と低圧環境の相乗効果	○下山 巖 ¹⁾ 、小暮敏博 ²⁾ 、奥村大河 ²⁾ 、馬場祐治 ¹⁾ 1) 原子力機構先端基礎研究センター、2) 東京大学
優秀口頭発表賞	S5-2	福島原発事故により発生した放射性粒子の加熱による構造と放射能の変化	○奥村大河 ¹⁾ 、山口紀子 ²⁾ 、土肥輝美 ³⁾ 、飯島和毅 ³⁾ 、小暮敏博 ¹⁾ 1) 東京大学、2) 農研機構、3) JAEA
優秀口頭発表賞	S9-8	放射性物質によるコンクリート汚染の機構解明と汚染分布推定に関する基礎研究(概説)	丸山一平 ¹⁾ 、○渋谷和俊 ²⁾ 、芳賀和子 ²⁾ 、五十嵐 豪 ³⁾ 、駒 義和 ⁴⁾ 、山田一夫 ⁵⁾ 1) 名古屋大学、2) 太平洋コンサルタンツ、3) 東北大学、4) 日本原子力開発機構、5) 国立環境研究所
優秀口頭発表賞	S10-1	除染廃棄物等焼却灰に対する灰溶融の基礎的研究	○倉持秀敏 ¹⁾ 、伊藤浩平 ¹⁾ 、油井和子 ¹⁾ 、阿部清一 ¹⁾ 、大迫政浩 ¹⁾ 、藤原 大 ²⁾ 、森重 敦 ³⁾ 、羽染 久 ³⁾ 1) 国立環境研究所、2) 神鋼環境ソリューション、3) 日本環境衛生センター

b) 優秀ポスター発表賞の審査結果

優秀ポスター発表賞は、実行委員会のプログラムWGメンバーと企業・ポスター展示会場WGメンバーに選考委

員をお願いしました。投票集計の結果から下表に示す最優秀賞1件、優秀賞2件が選考されました。学会から賞状と副賞を贈呈させていただきます。

優秀ポスター発表賞授与一覧

選考結果	ポスター No	発表題目	発表者等
最優秀ポスター発表賞	P2-07	灌漑水貯水池における放射性物質蓄積挙動の把握	○井倉将人(農研機構農業環境変動研究センター)
優秀ポスター発表賞	P1-05	放射性物質測定に用いるカスケード型 ICP-MS の前処理のための均一液抽出の検討	○佐々木尚哉、大平祐梨香、押手茂克、青木満里奈、菜花舞衣、海藤育未、諏江なつき(国立高専機構福島高専)
優秀ポスター発表賞	P5-01	熔融状態の混合 FSI 塩を用いた汚染土壌処理	○佐藤 駿、星野将宏、佐藤理夫(福島大学) 天野倉夏樹、坪倉史朗、岡戸俊明(日本曹達)

